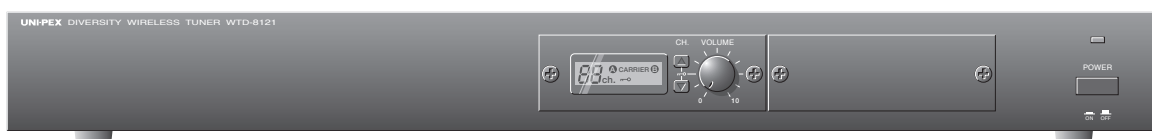




WTD-8141



WTD-8121

このたびは、ワイヤレス受信機をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。  
ご使用前に、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。  
この取扱説明書はお読みになりましたら大切に保管し、後日わからないことがありましたら再びご覧ください。

## ■商品概要

本機は、ユニペックス 800MHz帯ワイヤレスマイクに適合するダイバシティワイヤレス受信機です。  
増設用チューナーユニット DU-8030をWTD-8121は1台、WTD-8141は3台まで増設できます。

## もくじ

|                        |    |
|------------------------|----|
| 安全上のご注意                | 2  |
| 使用上のお願い                | 3  |
| 各部の名称と説明(前面)           | 4  |
| 各部の名称と説明(後面)           | 5  |
| 周波数設定のしかた              | 6  |
| 多チャンネル運用について           | 7  |
| アンテナの設置について            | 8  |
| <b>接続のしかた</b>          |    |
| ■1波～4波                 | 9  |
| ■5波～8波(ミキシング出力の場合)     | 9  |
| ■13波～15波               | 10 |
| チューナーユニット(別売)の組み込みかた   | 11 |
| ラックマウントのしかた            | 12 |
| ワイヤレスマイクシステムの設計・設置について | 13 |
| 定格                     | 14 |
| 外観寸法図                  | 14 |
| サポートのご案内               | 15 |
| 保証書                    | 15 |

# 安全上のご注意

必ずお守りください

- ご使用前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。

## 安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

### 絵表示の例



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。左図の場合は一般的な行為を指示する表示です。



### 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

#### 工事は工事店に依頼する

工事には、技術と経験が必要です。火災・感電、けが、器物損壊の原因となります。必ず工事店にご相談ください。



#### 異物を入れない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。



#### 分解／改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



#### 異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。



#### 不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



#### 濡れた手で、電源プラグを抜き差しはしない

感電の原因となります。



#### 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災、感電の原因となります。必ずプラグを持って抜いてください。



#### 電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。



#### 電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。



#### 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

( 傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、  
( 重いものを載せたり、束ねたりしない )

傷んだまま使用しますと感電・ショート・火災の原因となります。修理は必ず販売店に依頼してください。



#### コンセントや配線器具の定格を越える使い方や、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線などで、定格を越えると発熱による火災の原因となります。



# 使用上のお願い

---

## ■使用する電源は

- ・ AC100Vです。ご使用後は必ず電源スイッチを「切」にしてください。

## ■終端抵抗(75Ω)は接続しない

- ・ 接続していないアンテナ入力端子には、終端抵抗(75Ω)を接続しないでください。接続すると、ワイヤレスアンテナ(AA-800シリーズ、AA-C800シリーズ)に電源を供給できません。

## ■マイクロホンは

- ・ WM-8000シリーズ(別売品)をご使用ください。
- ・ ワイヤレスマイクを2本以上ご使用の場合は、マイクロホンどうしは50センチメートル以上離してください。他の受信機へ混信することがあります。
- ・ 使用中のワイヤレスマイクと同一周波数の他のワイヤレスマイクを「ON」にすると「ピー」という音がすることがあります。

## ■アンテナは

- ・ 別売のワイヤレスアンテナ(AA-800シリーズ、AA-C800シリーズ)をご使用ください。
- ・ 十分なダイバシティ効果を得るために、2本のアンテナ間隔は5～20m以内にしてください。

## ■本機の設置場所は

- ・ 直射日光の当たる所や温風吹出口近くは避けてください。また、湿気・ほこりおよび振動の多い場所に設置すると故障の原因になることがあります。

## ■近くの妨害電波を避けて

- ・ 同じ周波数の妨害電波、高周波を使う機器が近くにないことを確認してください。やむをえず雑音源の近くでご使用になる場合は、ワイヤレスマイクとワイヤレスアンテナの距離は約2m～10mの距離でご使用ください。なお、2m以内に近づくと、使用していないチャンネルへの飛び込みや混信などが発生することがあります。その場合は本機のアンテナ感度選択スイッチ、またはワイヤレスアンテナ内部のスイッチをLOに切換えてください。(詳しくは5ページアンテナ感度選択スイッチの説明をご覧ください。)
- ・ また、テレビなどの送信所の送信アンテナの直下では到達距離が短くなる場合があります。
- ・ 尚、使用範囲(最大/最小)距離はワイヤレスマイク、アンテナの取扱説明書もご覧ください。

## ■電源ON/OFF時に発生するノイズを低減するには

- ・ 電灯器具など、電気機器の電源をON/OFFした際に発生するノイズの影響で、ワイヤレス受信機から大きなノイズ音が発生する場合があります。この場合、以下に示す処置をおこなうことにより、ノイズ音を低減できます。
- ・ ノイズ源(電源スイッチで電源をON/OFFする機器や電源用のケーブル)からワイヤレス機器および同軸ケーブルを遠ざける。

## ■HDMIケーブル延長器を使用する際には

- ・ 延長器のLANケーブルとワイヤレスシステムの同軸ケーブルを、必ず離して施工してください。ノイズ音の原因となります。

## ■お手入れについて

- ・ 電源を切り、乾いた布で拭いてください。ほこりが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤をやわらかい布に浸み込ませ、よくしぼり軽く拭いてください。
- ・ ベンジン、シンナーなど揮発性ものを使用しますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- ・ 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

## ■アンテナ、チューナーユニット、マイクロホンなどの取扱説明書も合わせてご覧ください。

# 各部の名称と説明

## ■前面

### ブランクパネル

(チューナーユニット挿入口)

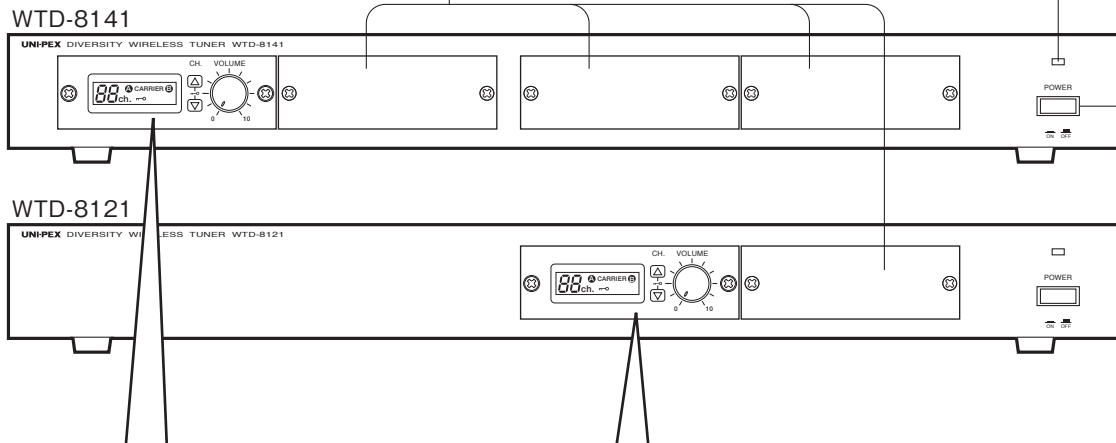
別売のダイバシティワイヤレスチューナーユニット DU-8030を組み込まれるときは取りはずしてください。

### 電源スイッチ

押すと電源が入り、電源表示灯が点灯します。再び押しますと電源は切れます。

### 電源表示灯(赤)

電源スイッチを押すと点灯します。



### ワイヤレスチューナーユニット

本機にはチューナーユニットが1台組み込まれています。必要に応じて別売のダイバシティワイヤレスチューナーユニットDU-8030を増設してください。なお、周波数の設定については6ページの「周波数の設定のしかた」をご覧ください。

### 受信表示

ワイヤレスマイクの電波を受信したとき、選択された受信部側を表示します。

### 周波数設定ボタン(UP)

ボタンを押すとチャンネル数が上がります。

### 音量調節つまみ

右に回すと音量が上がります。

### 受信チャンネル表示

使用されるワイヤレスマイクのグループ/チャンネル番号と同じ数字に合わせてください。

周波数設定ボタン(UP、DOWN)の操作終了後、約20秒で自動的にキーロック状態になります。周波数の設定をされる場合は、両ボタンをキーロック表示が消えるまで押し続けてください。キーロック状態が解除します。

### キーロック表示

周波数設定ボタン(UP、DOWN)操作が終了後、約20秒でキーロック状態になりキーマークが表示されます。キーロックを解除しますと表示は消えます。

### 周波数設定ボタン(DOWN)

ボタンを押すとチャンネル数が下がります。

## 後面

(説明のための外観図は、WTD-8141です。WTD-8121には※印の部分はありません。)

### ライン入力ジャック (-20dBV、600Ω)

ワイヤレス受信機を増設される場合は増設側ワイヤレス受信機のみキシング出力ジャックと接続します。その他、テープレコーダーなどの機器を接続します。

### アンテナ接続コネクタ (BNCコネクタ)

ワイヤレスアンテナ (AA-800シリーズ、AA-C800シリーズ) を2本または4本接続します。アンテナを2本だけ設置される場合は必ずアンテナAとアンテナBに1本ずつ接続してください。

### 電源コード

AC100Vコンセントへ

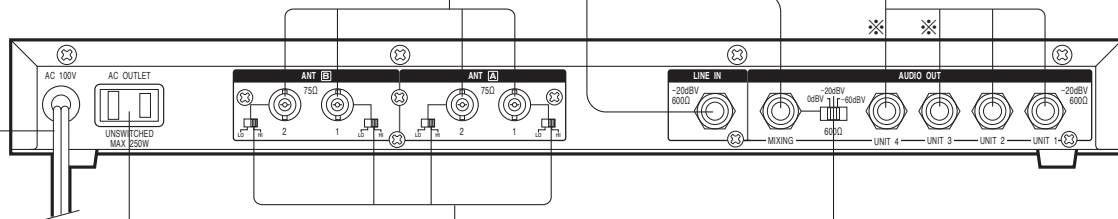
### ミキシング出力ジャック (600Ω、不平衡)

接続アンプのAUX (予備) ジャックなどに接続してください。各チューナーユニットの出力がミキシングになります。別売の平衡トランスLT-16Aを取り付けますと平衡出力になります。その時は販売店などにご相談ください。

### ユニット出力ジャック

(-20dBV、600Ω、不平衡)

ミキサーなどにそれぞれ接続してください。チューナーユニットごとの音量調節が可能です。各チューナーユニットの音量調節器は原則的に最大にしておいてください。別売の平衡トランスLT-16Aを取り付けますと平衡出力になります。その時は販売店などにご相談ください。



### ACコンセント

(電源スイッチと非連動)

増設のワイヤレス受信機や他の機器を接続してください。最大250Wまでです。



**警告** 接続する機器の消費電力の合計が250Wを超えないようにしてください。火災の原因になります。

### 出力レベル切換スイッチ

ミキシングオーディオ出力のレベルを0/-20/-60dBVに切り換えます。接続アンプの入力レベルに合わせて切り換えてください。

**ご注意**……0dBVポジション選択時、チューナーユニットのボリュームを上げ過ぎますと音声が入りやすくなります。その時は接続されるアンプなどのボリュームを最大にしてご使用ください。

### アンテナ感度選択スイッチ

接続されたアンテナの感度を設置状況に合わせてHI/LO選択してください。出荷時のスイッチ設定は"HI" (標準感度) になっていますが、下記の場合は"LO"に切り換えて感度を落としますと、混信を防ぐことができます。

- 1)他のグループのマイクを近接場所(30m以上離れた場所)で同時に使用する場合。
- 2)同一グループのマイクを近接場所(100m以上離れた場所)で同時に使用する場合。
- 3)受信アンテナに設置場所によって、マイクが2m以内の距離に接近する場合。
- 4)多チャンネル使用時に混信などの障害が発生する場合。
- 5)その他、電波障害による混信がある場合。

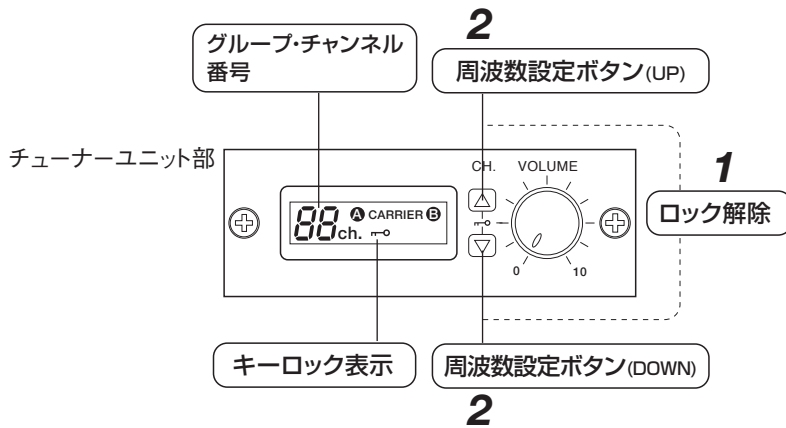
#### ご注意……

アンテナ感度選択スイッチを"LO"に切り換えた場合、ワイヤレスマイクの通達距離は1/2~1/3に減少します。ワイヤレスアンテナAA-810内部にも同様のスイッチがあり、設置工事をされる時は十分なテストをおこない、最適なスイッチポジションに設定してください。

# 周波数設定のしかた

- マイクと受信機(チューナーユニット)は、同じ周波数に設定してください。
- 同時に使用するマイクは、グループを全て同じにし、チャンネルを変えてください。[同グループ、異チャンネル]  
(周波数一覧表を参照)

## ■周波数設定のしかた



1. 周波数設定ボタン(UP・DOWN)を両方同時に、キーロック表示(キーマーク)が消えるまで押し続けキーロックを解除させてください。
2. 周波数設定ボタン(UP・DOWN)のいずれかを押し、ワイレスマイクのグループ・チャンネル番号と同じ数字に合わせてください。(右表参照)
3. 周波数設定操作を終了後、約20秒経過しますと自動的にキーロック状態(キーマーク表示)になり、周波数設定操作は受け付けません。又最後に設定したグループ・チャンネル番号は受信機の電源を切っても記憶されています。

注)周波数設定操作の途中でも約20秒間、操作が中断しますとキーロック状態になります。**1.**の操作で再びキーロックを解除し設定操作をしてください。

| 周波数(MHz) | グループ(下2桁目)・チャンネル(下1桁目) |     |     |     |     |     |     |
|----------|------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|          | 1                      | 2   | 3   | 4   | 5   | 6   | 7   |
| 806.125  | B11                    |     |     |     |     |     | B71 |
| 806.250  |                        | B21 |     |     |     |     |     |
| 806.375  | B12                    |     |     |     |     |     | B72 |
| 806.500  |                        | B22 |     |     |     |     |     |
| 806.625  |                        |     | B31 |     |     |     |     |
| 806.750  |                        |     |     | B41 |     |     |     |
| 806.875  |                        |     | B32 |     |     |     | B73 |
| 807.000  |                        | B23 |     |     |     |     |     |
| 807.125  | B13                    |     |     |     |     |     |     |
| 807.250  |                        |     |     |     |     | B61 |     |
| 807.375  |                        |     | B33 |     |     |     |     |
| 807.500  |                        |     |     | B42 |     |     | B74 |
| 807.625  |                        |     |     |     | B51 |     |     |
| 807.750  | B14                    |     |     |     |     |     |     |
| 807.875  |                        | B24 |     |     |     |     |     |
| 808.000  |                        |     |     | B43 |     |     |     |
| 808.125  |                        |     |     |     | B52 |     |     |
| 808.250  |                        |     | B34 |     |     |     |     |
| 808.375  |                        |     |     |     | B53 |     |     |
| 808.500  |                        | B25 |     |     |     |     | B75 |
| 808.625  |                        |     | B35 |     |     |     |     |
| 808.750  |                        |     |     |     | B54 |     |     |
| 808.875  |                        | B26 |     |     |     |     |     |
| 809.000  | B15                    |     |     |     |     |     |     |
| 809.125  |                        |     |     | B44 |     |     |     |
| 809.250  |                        |     | B36 |     |     |     |     |
| 809.375  |                        |     |     | B45 |     |     | B76 |
| 809.500  | B16                    |     |     |     |     |     |     |
| 809.625  |                        |     |     |     | B55 |     |     |
| 809.750  |                        |     |     | B46 |     |     | B77 |

## ■グループについて

- 同じ場所で複数のマイクを同時に使用するときは、1つのグループに統一して使用します。  
学校の教室のように複数の部屋で使用する場合は、部屋ごとにグループを割り振ります。  
・グループ 1~4……最大6波まで。・グループ5……5波まで。・グループ6……1波まで。  
・グループ 7 ……7波まで。ただし、隣接した部屋で他のグループのマイクは使えません。
- 15波同時使用の組み合わせは、グループ1~6の中から選定された周波数で構成されています。  
設定方法については、次の項の「多チャンネル運用について」をご参照ください。

# 多チャンネル運用について

## ■15波同時使用対応機種

- 15波同時使用には、送信機・受信機・アンテナ・分配器がそれぞれ15波同時使用対応機種である必要があります。
- 対応機種**(2009年2月現在のものです)
  - ・ワイヤレス送信機……WM-8130A,8100,8130A,8240,8330A,8400
  - ・ワイヤレス受信機……WTD-8121,8141
  - ・分配器……DWD-8240
  - ・ワイヤレスアンテナ……AA-800シリーズ,AA-C800シリーズ

## ■チャンネルの設定

- 15波同時使用の組み合わせは、グループ1～6の中から選定された周波数で構成されています。(右表参照)
- 同時に使用するマイクは、同グループ(右表の白または青)・異チャンネルにしてください。ただし、隣接した部屋でほかのグループのマイクは使えません。

| チャンネル | G/CH | 周波数(MHz) |
|-------|------|----------|
| 1     | B11  | 806.125  |
| 2     | B12  | 806.375  |
| 3     | B31  | 806.625  |
| 4     | B32  | 806.875  |
| 5     | B13  | 807.125  |
| 6     | B33  | 807.375  |
| 7     | B51  | 807.625  |
| 8     | B24  | 807.875  |
| 9     | B52  | 808.125  |
| 10    | B53  | 808.375  |
| 11    | B35  | 808.625  |
| 12    | B26  | 808.875  |
| 13    | B44  | 809.125  |
| 14    | B45  | 809.375  |
| 15    | B55  | 809.625  |

| チャンネル | G/CH | 周波数(MHz) |
|-------|------|----------|
| 1     | B21  | 806.250  |
| 2     | B22  | 806.500  |
| 3     | B41  | 806.750  |
| 4     | B23  | 807.000  |
| 5     | B61  | 807.250  |
| 6     | B42  | 807.500  |
| 7     | B14  | 807.750  |
| 8     | B43  | 808.000  |
| 9     | B34  | 808.250  |
| 10    | B25  | 808.500  |
| 11    | B54  | 808.750  |
| 12    | B15  | 809.000  |
| 13    | B36  | 809.250  |
| 14    | B16  | 809.500  |
| 15    | B46  | 809.750  |

## ■感度調節

- 各機器の受信感度をチャンネル間の混信が発生しないように設定してご使用ください。詳しくは各機器の取扱説明書をご覧ください。

# アンテナの設置について

- ワイヤレスアンテナを設置する前に、あらかじめアンテナを仮設し、ワイヤレスマイクの移動範囲内で受信テストをおこないデッドポイントが最も少ない所を選んでください。
- 雑音や妨害電波を避けるため、下記のような機器(場所)の近くには設置しないでください。  
高周波乾燥機、高周波医療設備、電気溶接機、ブラッシングモーター、デジタル機器(コンピューター・エレクトーン)、自動車(道路)、静電式空気清浄器など。
- 同軸ケーブルについてご注意……  
アンテナを接続する前に、同軸ケーブル配線がショートしていないことを確かめてください。ショート状態で電源スイッチを入れると機器を傷めることがあります。

## ●ワイヤレスアンテナAA-800シリーズ/AA-C800シリーズを設置される場合

- 同軸ケーブルとBNCコネクターの接続、またはアンテナに直接ねじ止めする場合は完全に接続がおこなわれていないと、高周波損失を招き電波伝送に大変悪い結果をもたらします。充分ご注意ください。
- アンテナと本機との距離が長くなりますと、減衰が大きくなり受信状態が悪くなります。右記表を参考にして、使用する同軸ケーブルをお選びください。

|            |         |       |
|------------|---------|-------|
| 使用可能同軸ケーブル | 5C-2V   | 5C-FB |
| 延長可能距離     | 約30m    | 約60m  |
| 使用コネクタ     | BNCコネクタ |       |

## ●BNCコネクタと同軸ケーブルの接続のしかた(例)

- 同軸ケーブルの処理具合により受信性能が大幅に変わります。下記の説明に忠実にしたがってください。また同軸コネクタは性能の良いBNCを使用してください。
- 注)接続後、芯線と編組線がショートしていないことをテストなどで確認してください。

5C-2V用

**1** 同軸ケーブルの末端処理

ポリエチレン  
芯線  
5mm  
15mm  
同軸ケーブル  
シールド線は2等分してよりわかる

**2** 芯線とシールド線を挿入

シールド線をこの中に入れる  
シールド線

**3** 芯線とシールド線をハンダ付けする

ハンダゴテ  
芯線をハンダ付けする  
シールドをハンダ付けする

**4** 接続スリーブと縮付金具をねじ込む

ねじ込む →  
← 縮付金具をスパナでねじ込む

**5** 完成状態

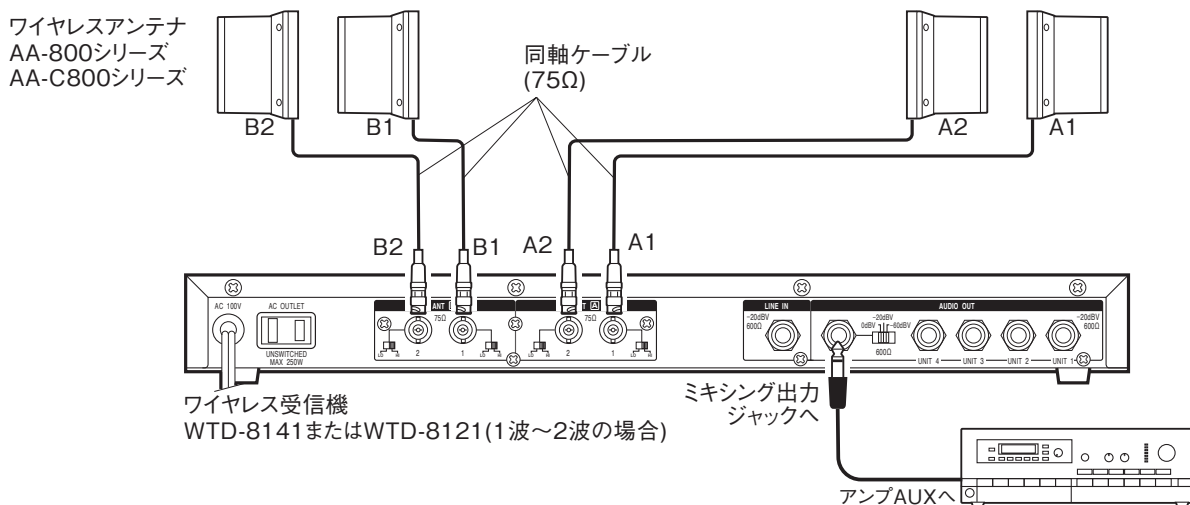
シールド(ハンダ付け)  
被覆  
芯線  
←シールド(ハンダ付け)

【ご注意】 ポリエチレンが溶けないように素早く芯線をはんだ付けてください。

# 接続のしかた

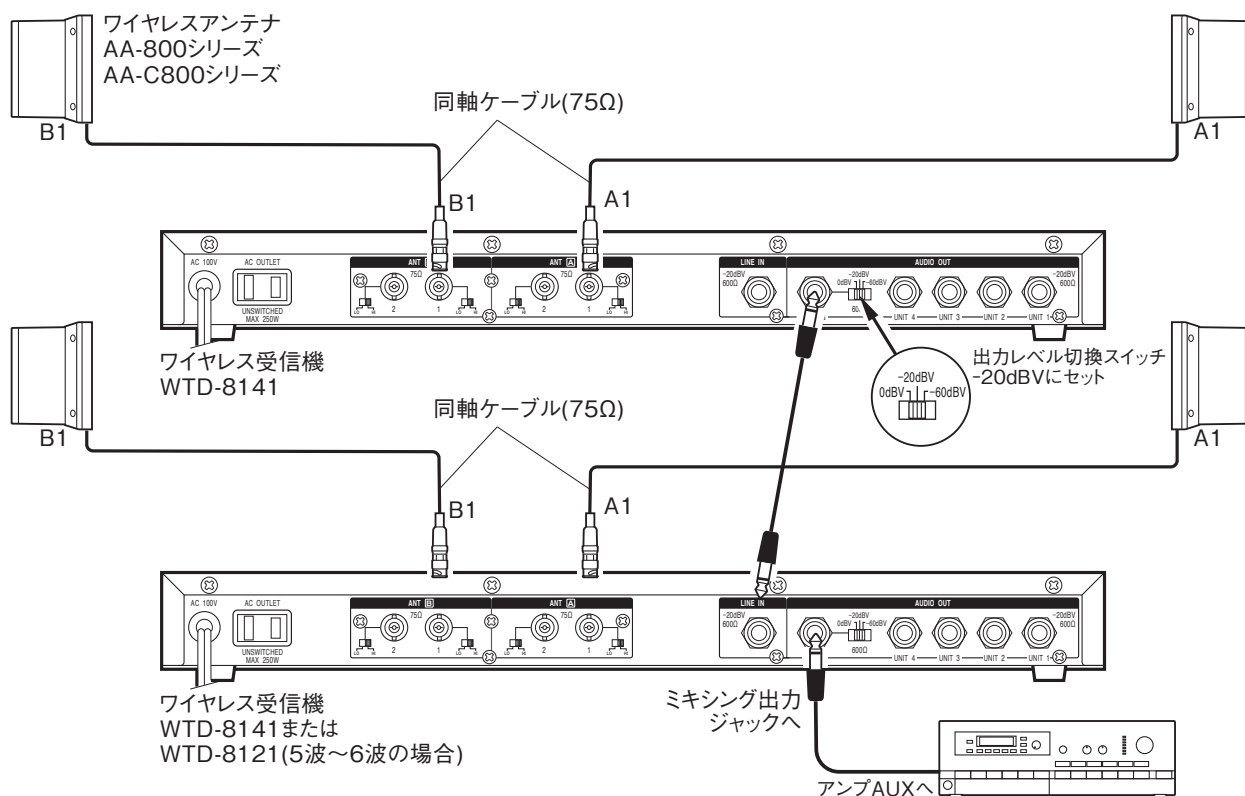
## ■ 1波～4波の場合

### ● 本機1台、アンテナ4台の接続例



## ■ 5波～8波の場合

### ● 本機2台、アンテナ4台の接続例



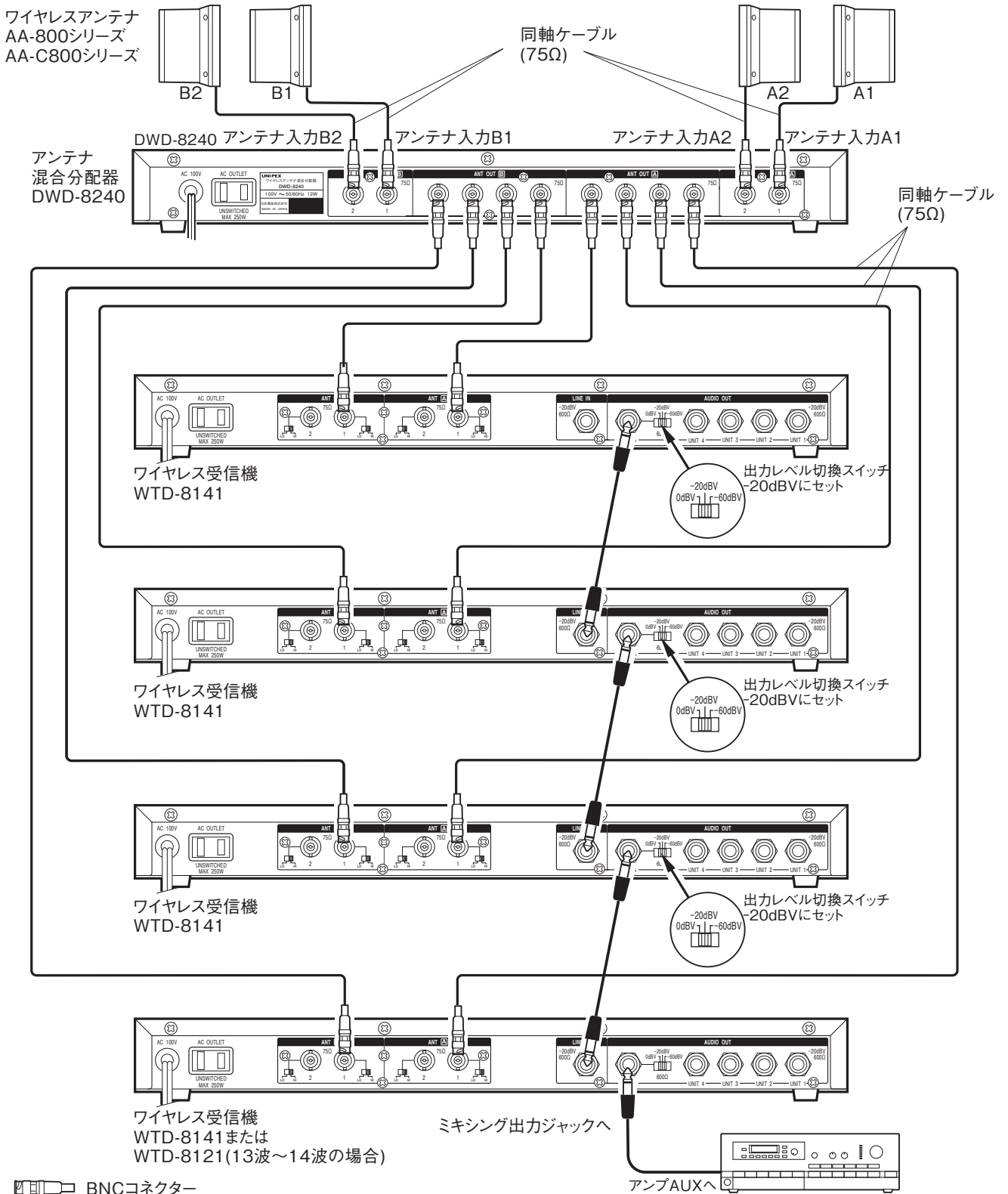
 BNCコネクター

### メモ

- ・ワイヤレス受信機(本機)に接続したワイヤレスアンテナ(AA-C800シリーズ)は本機後面のアンテナ感度選択とは無関係に最大感度で動作します。  
白グループ、青グループの運用にはアンテナ混合分配器(DWD-8240)のご使用をおすすめします。

## ■13波～15波の場合

### ●本機4台、アンテナ混合分配器1台、アンテナ4台の接続例

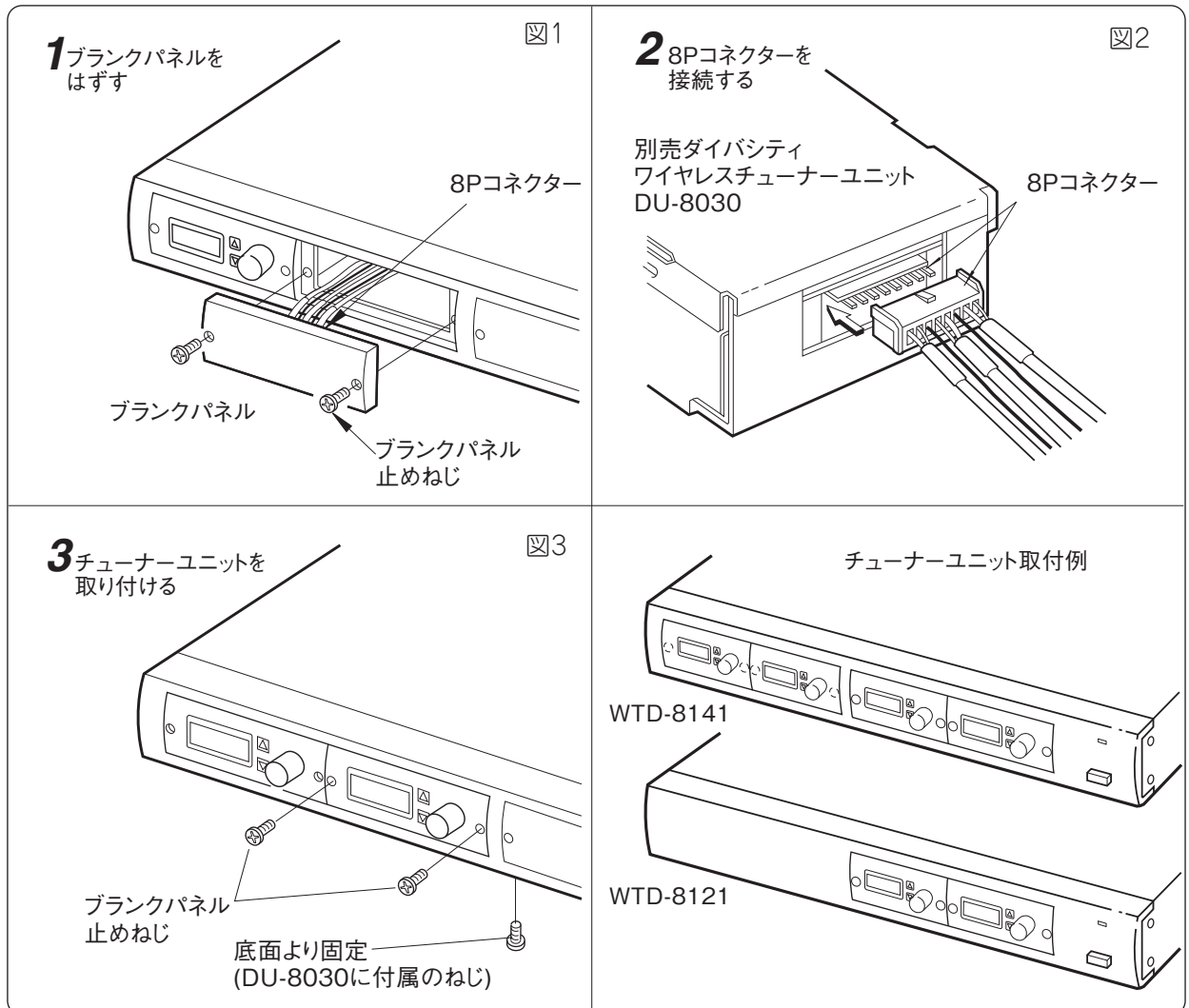


### メモ

- ・アンテナ感度のリモートコントロールは、ワイヤレスアンテナ (AA-C800シリーズ) を直接接続した混合分配器 (DWD-8240) よりコントロールできます。

# チューナーユニット(別売)の組み込みかた

本機に別売のワイヤレスチューナーユニットDU-8030を組み込む場合は、次の要領でおこなってください。



**1** ブランクパネルを取りはずしません。ブランクパネルの裏側には接続用8Pコネクターが差し込まれていますので、そのコネクターをブランクパネルからはずしてください。(図1参照)

**2** はずした8Pコネクターを図2のようにチューナーユニット後面の8Pコネクターに確実に差し込んでください。

**3** ブランクパネルをはずした2本のねじでチューナーユニットを取り付けてください。さらにチューナーユニットに付属のねじで本機の底面より固定してください。(図3参照)

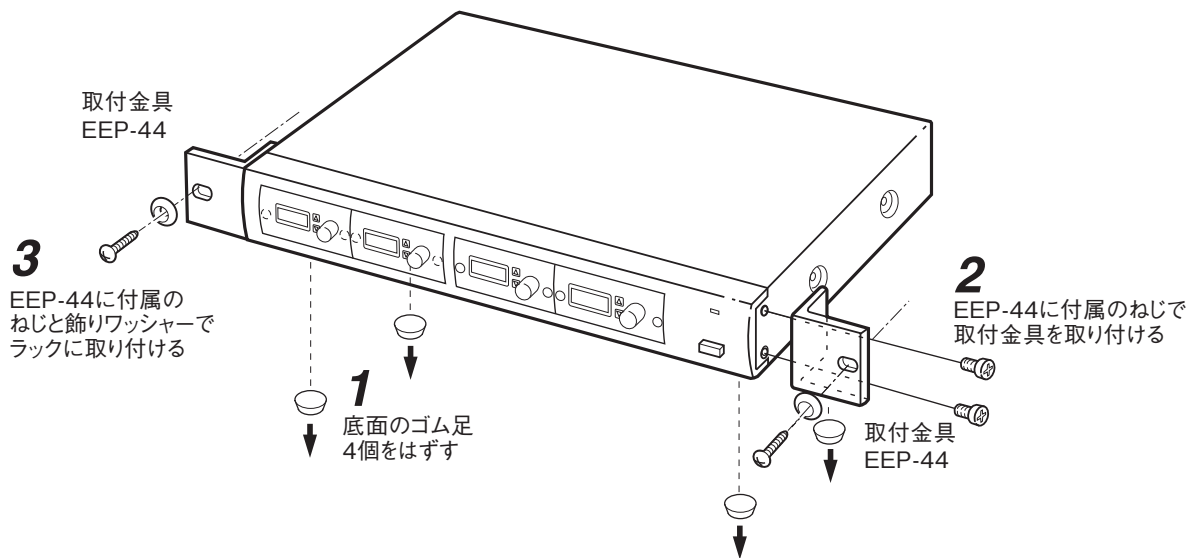
## ご注意

取付作業をおこなう場合は必ず、本機の電源プラグをACコンセントから抜いてください。  
ブランクパネルから8Pコネクターをはずす際にはブランクパネルのロックのツメをはずしてから取りはずしてください。またチューナーユニット挿入時には、接続コードをはさみ込まないようにご注意ください。

# ラックマウントのしかた

## ■EIA規格ラックへの取り付けかた

EIA規格ラックに本機を取り付ける場合は、別売のEIAラック取付金具EEP-44で下図のように取り付けてください。



**1** ゴム足(4カ所)をはずします。

**2** 本機の両端にラックマウント金具EEP-44(別売品)を取り付けます。  
取付ねじ(4本)で確実に固定してください。

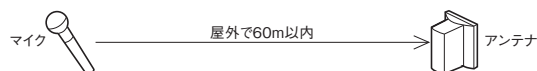
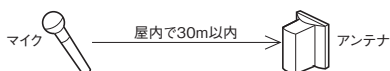
**3** 本機をラックに取り付け、ラック取付ねじ(EEP-44に付属)で固定します。

### メモ

- ・電力アンプと一緒にラックへ取り付ける場合は、電力アンプと本機との間を1U以上あけてください。
- ・ラック内の温度が+40°C以上にならないように、通風や換気を良くしてください。
- ・EEP-44はブラック仕上げ、EEP-44Gはグレー仕上げです。寸法はどちらも同じです。

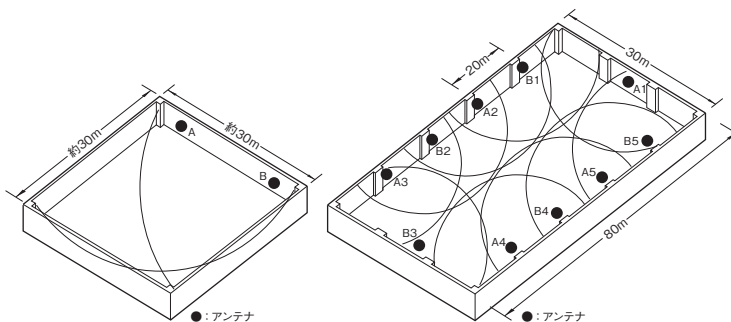
# ワイヤレスマイクシステムの設計・設置について

## ワイヤレスマイクの使用距離(800MHz帯/300MHz帯共)



### 屋内でのアンテナの設置

- アンテナから半径30m以内がサービスエリアとなります。
- アンテナは500m<sup>2</sup>に1本の割合で配置してください。
- アンテナの間隔は、できるだけ5~20m以内にしてください。
- アンテナはワイヤレスマイクの使用範囲から直視できる位置に、垂直に設置してください。
- アンテナは電線や金属物から30cm以上離して設置してください。



### ダイバシティの場合の注意事項

- アンテナは必ず2本以上偶数本で使用してください。
- アンテナを必ず多数設置する場合は、AとBのアンテナを交互に設置してください。

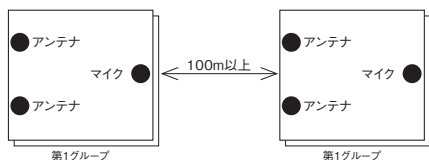
アンテナを2本使用する場合

アンテナを多数使用する場合

## 同一グループを近接場所で同時に使用する場合

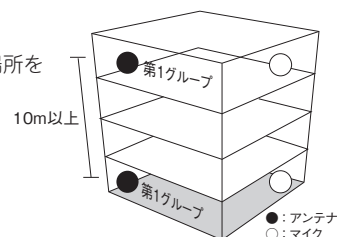
### 同一平面の場合

- お互いの使用場所を100m以上離してください。



### 階層が異なる場合

- 鉄骨/鉄筋構造の場合、お互いの使用場所を垂直距離で10m以上離してください。(木造の場合は不可)

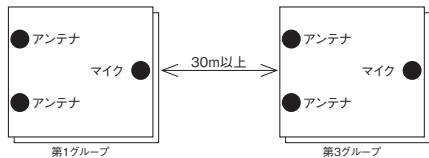


## 他のグループを近接場所で同時に使用する場合

例えば800MHz帯の第1グループ(B11~B16)と第3グループ(B31~B36)を近くで同時に使用する場合は、以下のような注意が必要です。

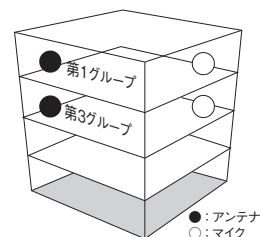
### 同一平面の場合

- お互いの使用場所を30m以上離してください。



### 階層が異なる場合

- 鉄骨/鉄筋構造の場合、階層が異なれば、同一平面の場合のような制限はなく使用できます。(木造の場合は不可)



## 800MHz帯と300MHz帯の同時使用

※800MHz帯の一つのグループ(最大15ch)と300MHz帯(4ch)は、同一場所で同時に使用できます。従って19chまで使用可能になります。この場合800MHz帯と300MHz帯のアンテナは50cm以上離して設置してください。

## ご注意

※上記資料はあくまで標準例のみを記述しています。設置場所によってはいろいろな数値が大きく異なる場合があります。実際のシステムの設置に際しては事前に充分テストを行い、アンテナの設置位置決めや利得調節を行って最適システムを構築してください。

# 定格

| 品番              | WTD-8141   | WTD-8121 |
|-----------------|--|----------|
| 使用電源            | AC 100V 50/60Hz  |          |
| 消費電力            | 17W  | 13W      |
| アンテナ入力          | 75Ω(BNC)2入力 2系統(アンテナ感度選択スイッチ付、ファンタム電源出力:12V 40mA×4)        |          |
| アンテナ感度選択        | HI/LO(A1,A2,B1,B2)   |          |
| 受信周波数           | 806.125MHz~809.750MHz (125kHz間隔、30波)                       |          |
| 受信方式            | PLL制御スーパーヘテロダイン方式  |          |
| 受信感度            | 23dBμV以下 (S/N 50dB ±5kHzFMにて)                              |          |
| スケルチ感度          | 24dBμV以下   |          |
| 受信表示            | 選択された受信部側を表示   |          |
| ミキシング出力         | 0dBV、-20dBV、-60dBV 600Ω 不平衡 切換式(平衡トランス LT-16A 取付可能)        |          |
| ユニット出力          | -20dBV 600Ω 不平衡(平衡トランス LT-16A 取付可能)                        |          |
| ライン入力           | -20dBV 600Ω 不平衡  |          |
| ひずみ率            | 3%以下(±40kHzFMにて)   |          |
| 周波数特性           | 50Hz~15kHz (1kHz、50μsエンファシス)                               |          |
| 使用温度範囲          | 0°C~+40°C  |          |
| 外装              | パネル:(アルミニウム) 塗装 マンセルN1近似色黒<br>カバー:(ビニールラミネート銅板) マンセルN1近似色黒 |          |
| 寸法              | 幅 420mm 高さ 45mm 奥行 319mm                                   |          |
| 重量              | 約3.8kg   | 約3.6kg   |
| 付属品             | 2極大形単頭プラグ付コード 1m 1、取扱説明書(保証書付) 1                           |          |
| 適合ワイヤレスマイク(別売品) | 800MHz帯ワイヤレスマイクロホン WM-8000シリーズ                             |          |
| 適合品(別売品)        | ダイバシティワイヤレスチューナーユニット DU-8030、平衡トランス LT-16A、ラック取付金具 EEP-44  |          |

## 外観寸法図 (単位:mm)



## サポートのご案内

### ■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

販売店に修理を依頼する場合は、下記の項目をお確かめください。

①品名 ②品番 ③お買い上げ日 ④故障の状況（できるだけ具体的にお願いします）

### ■ 販売店がご不明な場合は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

営業所情報はホームページ  
もしくは2次元コードにアクセス  
してください。

<https://www.unipex.co.jp>



### ■ その他ご不明な点は、お客様ご相談センターへご相談ください。

**UNI-PEX 0120-56-5245** 通話料無料

お客様ご相談センター 受付時間／9:00～17:00（土・日・祝日除く）

携帯電話からのご利用は、

**072-855-3334**（通話料がかかります）

#### 【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様ご相談センターにおけるお客様の個人情報は、ご相談対応、修理およびその確認に使用いたします。個人情報は適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供または開示いたしません。

## ワイヤレス受信機 WTD-8141, 8121 保証書

|      |  |
|------|--|
| 製造番号 |  |
| 保証期間 | お買い上げ日<br>年 月 日より<br>電子回路部1ヶ年、ケース(外装部) 6ヶ月 |
| お客様  | お名前<br>ご住所 〒<br>電話( ) -                    |
| 販売店  | 店名・住所<br>電話( ) -                           |

#### 保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。  
(This warranty is valid only in Japan)

#### 無料修理保証の範囲

- ①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
- ②修理の際は必ず保証書の提示があること。
- ③当保証書の所定項目に必要な事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

#### 無料修理保証の免責範囲

(次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。)

- ①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
- ②不当な修理改造による故障、損傷。
- ③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
- ④お買い上げ後の落下、傷など、お取り扱い上に起因するもの。
- ⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
- ⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
- ⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 **日本電音株式会社**

発売元 **ユニペックス株式会社**

〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-6 TEL.(072)855-3334(代)